



日本リズム協会年報
Japan Institute of Rhythm

10号 2006 - 2007

<学術論文>

中根 弘之 「実在の認識とリズム」 … 1

大高 誠二 「音楽の小規模な構造の分析のための理論」 … 16

<自由投稿>

米澤 一孝 「『死に至る病』における自己の構造」 … 53

足立 美比古 「対話とリズム (続)」 … 64

<書評・解説>

書評 (図書新聞)

: ジャン=ジャック・ナティエ著▼音楽・研究・人生
音楽と言語をめぐる仮想対話 … 87

書評 (図書新聞)

: 矢向正人著▼音楽と美の言語ゲーム … 90

訳者解説

記号論の現在—J=J.ナティエ『音楽記号学』新装版によせて … 93

<第24回大会>

大会資料 …104

橋本 智明 「お笑いとのリズムの関係について」 …106

山本 文雄 「民族リズムの形成と変容
—言語・音楽・舞踊の見地から」 …114

講演と演奏

傍聴記「明治以後西洋音楽が箏曲に与えた影響」 山本 文雄 …127

<第36回例会>

発表要旨

吉澤 頼子 「ラテン音楽—キューバのリズムとダンス」 …128

傍聴記 橋本 智明 …129

2006年度日本リズム協会活動記録 …130